

第 65 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2012 年 11 月 19 日(月)13 時 30 分～16 時 40 分

2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者: 木村(NIMS)、尾崎(東電)、田村(パブ日立)、俣野(KHI)、伊藤(IHI)、北村(関電)、
清水(MHI)、戸田(NIMS)、齊藤(中電)、伊勢田(新日鐵住金)

欠席者: なし

代理者: なし

オブザーバ: なし

事務局: 海野

4. 配付資料

65-1 . 第 64 回材料分科会議事録(案)

65-2 . 材料分科会委員名簿

65-3 . 第 60 回, 第 61 回火力専門委員会議事録

65-4 . 第 15 回, 第 16 回材料専門委員会議事録

65-5 . 第 61 回, 第 62 回規格委員会議事録

65-6 . JESC 本委員会審査結果

65-7 . 発電用火力設備規格 2012 年版出版企画書

65-8 . 発電用設備規格委員会ホームページ ファイル共有機能の運用について

65-9 . 発電用火力設備規格 規格原稿作成要領(案)

65-10 . 火力設備規格作成にあたっての標準用語リスト

65-11 . 書面投票説明資料「ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の提案」

65-12 . 発電用火力設備規格詳細規定第Ⅱ章許容応力表の適用範囲見直しに関する検討依頼について(案)

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

[資料 65-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、特に指摘事項はなく議事録案は承認された。

(2) 分科会委員の確認

[資料 65-2]

第 60 回及び第 61 回火力専門委員会における、再任及び新任委員の承認結果を確認した。
伊勢田委員と清水委員の所属の修正内容を確認した。

(3) 火力専門委員会・材料専門委員会・規格委員会他報告

(3-1) 火力専門委員会

[資料 65-3]

第 60 回及び第 61 回火力専門委員会の審議内容のうち、材料分科会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ ASME 規格からの SI 値の取り込みに関する検討状況について
- ・ 次回改訂は ASME 2011 Addenda を取り込むこととして作業を進める

- ・ 火技解釈は改正動向を注視し、改正された場合には取り込む

(3-2) 材料専門委員会報告

[資料 65-4]

第 15 回及び第 16 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ PG-20:「高強度フェライト耐熱鋼の冷間加工」の取り入れに関する回答案
- ・ 材料事象の解説について
- ・ ASME 規格における高温の Su 値の算出において 1.1 倍する根拠について
- ・ 高速炉規格における新規材料の規格化について
- ・ 金属キャスクバスケット用新規材料の規格化について
- ・ 今後の活動事項について

(3-3) 規格委員会報告

[資料 65-5]

第 60 回及び第 61 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ ASME 規格値をそのまま取り込む場合は、ASME の SI 単位規定値採用を基本とする方針を内規とすることについて、各専門委員会及び規格委員会で書面投票を実施する

(3-4) 日本電気技術規格委員会 (JESC) 本委員会審査結果報告

[資料 65-6]

「日本機械学会 発電用火力設備規格基本規程 (2012 年版) とその事例規格, および詳細規定 (2012 年版) に関する省令への適合性」が第 67 回日本電気技術規格委員会で審議され、省令の技術要素及びその技術的要件を満たす規格であると評価され、平成 24 年 6 月 13 日に原子力安全・保安院 電力安全課へ活用要請が提出されたことが報告された。また、原子力安全・保安院における日本機械学会 発電用火力設備規格基本規程 (2008 年版) の技術評価の状況が報告された。

(3-5) 発電用火力設備規格 2012 年版出版企画書

[資料 65-7]

2012 年版規格をオンデマンド印刷方式で 12 月に出版することが承認され、価格も決定したことが報告された。

(3-6) ファイル共有システムの運用について

[資料 65-8]

発電用設備規格委員会ホームページのファイル共有システムが 10 月 1 日から運用開始されており、現時点での暫定的な運用ルールが事務局から説明された。従来は事務局にファイルのアップロードを依頼していたが、今後は各委員がファイルをアップロードすることとなる。平成 25 年 2 月を目途に、各分科会の状況を報告して正式ルール案を策定する。

(4) 審議事項

(4-1) 次回改訂作業方針について

[資料 65-9]

- ・ 規格原稿作成要領として、原稿フォーマットの統一化指針を確認した
- ・ 標準審議フローを用いて、審議履歴表の作成を再確認した
- ・ 材料分科会関連では許容応力表のフォーマット統一についても再確認することとした
- ・ 次回材料分科会では、尾崎幹事が作成した改訂原稿案を用いて、改訂原稿案の作成方法を確認することとした

上記報告に対して以下の意見があった。

- ・ 次回改訂版はいつ頃を目標にして完成させるのか？
- ・ ASME 規格は 2013 年版以降、2 年毎に改正される予定である。ASME 規格改正との対応はどうするのか？

(4-2) 次回改訂時の作業ルールについて

[資料 65-10]

- ・ 構造分科会と溶接分科会が作成した標準用語リストを活用する
- ・ 標準用語リストに対する修正提案がある場合は審議を行う
- ・ 標準用語リストについて、管 (Pipe) とチューブ (Tube) は要検討との意見があった
- ・ 2012 年版書面投票時の意見対応で、次回改訂時に再検討を要する項目を確認した。確認項目と確認結果を添付 2 に示す。
- ・ 原稿作成は、規格原稿閲覧室のフォルダに保管されているファイルをダウンロードして使用する
- ・ 原稿の修正に当たっては、Word の変更履歴機能を使用する

(4-3) ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取り扱いに関する内規

[資料 65-11]

- ・ 第Ⅱ章関連はすでに ASME の SI 値をそのまま取り入れている
- ・ 当該提案の内規(案)に関して、材料分科会としては特に意見はないことを確認した

(4-4) 詳細規定第Ⅱ章許容応力表の適用範囲見直しに関する検討依頼

[資料 65-12]

1. ASME B31.1 材料の第Ⅲ章への適用について

- ・ B31.1 の許容応力が Section II, Part D の値と同一であるかどうかを確認する
- ・ 許容応力以外に検討すべき項目の有無を確認する
- ・ 2012 年版で削除した表Ⅱ-1-4 の備考(a)を、記載を修正して復活させることを検討する
- ・ 依頼文(案)で「第Ⅲ章の適用範囲は、ボイラとその外部配管」としているが、一方で「外部配管は、第Ⅴ章に規定している」している。第Ⅲ章の外部配管を指すのか、また、第Ⅲ章に適用される外部配管の規定は、第Ⅲ章に規定されているのではないかとの意見が出された。尾崎幹事が、構造分科会飯田主査に内容を確認することとした。

2. JIS 低温用材料の第Ⅲ章からの適用除外について

- ・ STBL690/STPL690 を第Ⅲ章適用不可として問題ないことを確認した

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 2 月 18 日(月) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第 2 会議室

7. 添付資料

添付1:審議履歴表

添付2:2012 年版意見対応残件リスト

以 上